



2学期開始に向け、第5波の感染拡大状況や緊急事態宣言延長を踏まえ、東京都教育委員会の対策本部から各都立校長あてに、以下の通知が発出されました。

26日（木）配信の「光明の学び 臨時号」と合わせてお読みください。本校は対策本部の指針に基づき、これまで以上に感染予防に努めながら、教育活動を行ってまいります。

3教総総第1184号

令和3年8月24日

各都立学校長 殿

東京都教育委員会 教育長
(東京都教育庁新型コロナウイルス感染症対策本部長)
藤田 裕司

都立学校における感染症対策の取組の強化について（依頼）

新型コロナウイルス感染症の対応については、令和3年8月17日付3教総総第1155号「都立学校における緊急事態宣言の期間再延長に伴う対応および夏季休業明けの留意事項について（依頼）」により、感染防止対策の徹底と学校運営の継続に取り組んでいただいているところです。

現在、感染力が従来株の約2倍あり、これまで知られた中で最も強いウイルスとも言われるデルタ株への置き換わりが急速に進み、かつてないスピードで感染が拡大しており、児童・生徒等への感染も急増しています。

現在の厳しい感染状況下において、各学校では、夏季休業明けを迎えるに当たり、デルタ株の脅威を正しく認識して、感染症対策を一層徹底しながら、児童・生徒等の学習を保障するとともに、心身の健康等を維持していく必要があります。

つきましては、デルタ株に対する感染症対策強化を目的に、9月末迄を「対策強化月間」と位置付け、特に、下記事項に集中的に取り組み、校内の感染症対策の強化に努めていただきますようお願いいたします。

(※文字色変更は学校による。以下は文書の一部を抜粋し説明を加筆した。)

記

3 健康観察の実施

- 児童・生徒等の感染が増加している状況を踏まえ、児童・生徒等の健康観察（体温測定、症状の有無の確認）を徹底するとともに、同居する家族等にも健康観察を依頼する。
- 本人及び同居の家族に発熱等がある場合には登校しない。その場合は、出席停止として扱う。
- 咳、発熱、息苦しさなどの体調不良の症状が見られる場合は、受診する。
- 家庭における感染拡大防止について保護者に理解と協力を求める。

4 マスクの正しい着用の徹底

- マスクの着用と換気を徹底するとともに、マスクについては、不織布マスクが最も高い効果を持つことを踏まえて、不織布マスクの使用を基本とし、正しいマスクの着用方法を指導する。なお、マスクの着用については、着用が難しい場合など個々の児童・生徒の事情に応じた配慮を行う。

5 教室等における密集の回避

(1) 生徒間の間隔の確保

○身体的距離を確保するため、生徒同士の間隔を可能な限り確保する。また、施設の状況や感染の状況に応じて、座席の間隔に一律にこだわるのではなく、頻繁な換気を組み合わせるなど適切に対応する。さらに、必要に応じて、大教室を活用するなどの工夫を行う。

(2) 換気の徹底

- 密閉を回避するため、教室に限らず、体育館や武道場等についても、気候上可能な限り常時換気に努めるなど、換気を徹底する。
- 換気設備を設置している教室等では、常時、確実に換気設備稼働させる。窓がない教室等では、送風機等により強制換気を行った上、常時送風機等を稼働させた状態で使用する。

6 児童・生徒に対する指導の徹底

(1) 学習活動について

○授業での合唱など飛沫感染リスクの高い活動は行わない。また、ICT端末等を活用して話し合い活動等を実施するなど、感染リスクの更なる低減を図る。

(3) 昼食時について

○食事の前後の手洗いの徹底、席の配置の工夫、会話を控え黙食を徹底、食事後の歓談時におけるマスクの着用などの対応を見回り指導を実施する。飲食の場面では感染リスクが高まるとされていることから、十分な換気を行うよう見回り指導を実施する。

7 特別支援学校の取組

○健康状態を把握するために、肢体不自由特別支援学校の全児童・生徒に対して、バイタルチェックを実施する。

補足説明：「バイタルチェック」は、体温・脈拍・呼吸の状態についての観察を児童・生徒の状況に応じて適宜行います。異変を感じた時は、血中酸素濃度（SpO₂）を測定できる機器（パルスオキシメーター）を使用して具体的に数値として把握します。児童・生徒の状況等に応じて、これまで以上に細心の注意を払い、健康観察を行っていきます。

○児童・生徒等の体調の変化を見逃さないよう、放課後等デイサービスに対して、利用者の体調の情報を確実に伝達する。

補足：次ページに詳細を掲載します。

【新規】スリッパ消毒器を設置

西棟昇降口（スクールバス側）と職員玄関（寄宿舍側）に1基ずつ設置しました。保護者の皆様には、マイスリッパの持参をお願いしておりますが、急なお迎えの際等には、どうぞ御利用ください。職員玄関では来客等に使用します。15秒間でほぼ100%の除菌が可能とのことです。

この消毒器がスリッパ入れにもなりますので、従来の「消毒済みスリッパ入れ」「使用済みスリッパ入れ」のかごは、これを機に撤去します。また、個人面談期間、授業参観期間など、一定期間に多くの御家庭が来校される際には、今まで通りスリッパの持参をお願いしています。御協力ください。



【新規】放課後等デイサービスへの健康状態の引き継ぎ方法

放課後等デイサービス事業所を利用している学園生を対象に、下校時の引き継ぎ方法について、都から次ページのとおり通知が届いています。

放課後等デイサービス事業者に対する情報提供について（お願い）

放課後等デイサービス事業所を利用している児童・生徒につきましては、下校時に事業所の方にお子さんをお預けする際、これまででは口頭でお子さんの健康状態を簡潔に引き継いでまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている都内の状況から、都教育委員会が9月末までを対策強化期間に位置付けていることを踏まえ、希望される御家庭等を対象に、この間、下記のとおり引継ぎ方法を強化することといたしました。

趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

記

1 対象

お子さんが放課後等デイサービス事業者を利用している御家庭で希望される方

2 引継ぎ方法

別紙「健康観察票」の記録による引継ぎ

3 実施方法

- 放課後等デイサービス事業所を利用する日の登校前に、保護者の方がお子さんの健康観察を行い、「健康観察票」（以下の表）に記入してください。
- 在校中に、学校もお子さんの健康観察を行い、「健康観察票」に記入します。
- 下校時に、学校は、放課後等デイサービス事業所の方に「健康観察票」を引継ぎます。

<放課後等デイサービス事業所の職員の皆様>

本健康観察票を確認しましたら、右側の欄にチェックをお願いします。感染症の予防と感染拡大防止に御理解と御協力をお願いいたします。

月日	曜日	家庭等						学校			放課後等 デイサービス チェック欄	
		体温	症状				伝達事項		体温 ※朝の検温 時37度以上	咳		その他
			咳	その他 風邪症状	味や匂 い異常	強い だるさ	息 苦しさ	その他の症状、伝えたいこ と、気になること				
例 9/1		36.8	×	×	×	×	×	朝いつもより食欲がない。	有・無	有・無		レ
9/1	水								有・無	有・無		
9/2	木								有・無	有・無		

放課後等デイサービス事業所に対して「健康観察票」による引継ぎを希望される場合は、担任まで連絡帳等でお知らせください。書式は光明学園ホームページからダウンロード可能になっております。締切は9月10日（金）としますが、お申し出のあった方から順次開始します。

【確認】 校外学習等での再調理の実施について

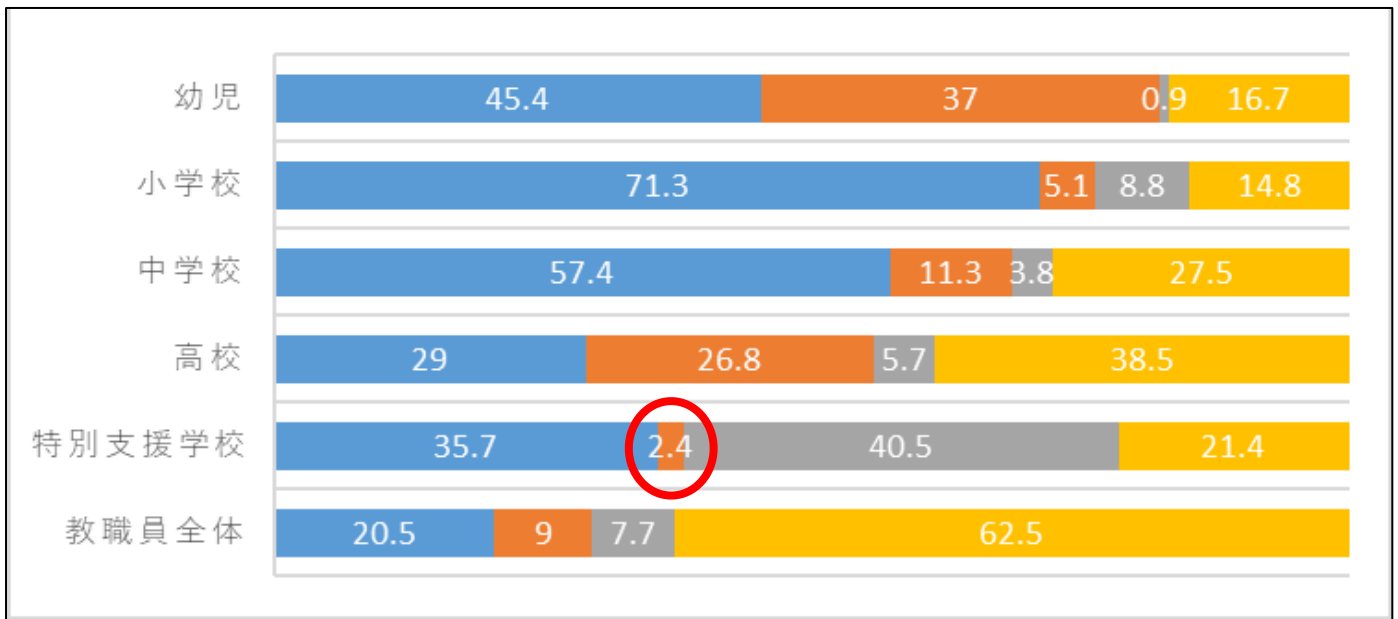
感染状況が好転し、校外学習が実施された場合、特にレストラン等での外食の際の、再調理の実施方法について、確認します。

レストラン等から提供された食事に教職員等が手を加えて喫食させることは衛生的にも好ましくないことに加え、コロナ禍であることを踏まえ、より衛生面・安全面に配慮し、関わる人を限定することと手順を簡略化します。

再調理は「つぶす」「切る」「とろみづけ」のみとします。 使用器具はマッシャー、つぶしっこ、調理ばさみとし、電源を使用するフードプロセッサーやバーミックスのような機器は使用しないこととします。特に使用器具の共用を避け、必要な学園生ごとに専用のを学校から持参します。また、とろみ付けには本人持参のとろみ剤と容器・食具を利用し、残量も含めてそのまま持ち帰らせるようにします。御理解ください。

【参考1】今年7月に全国で感染が確認された幼児・児童・生徒及び教職員の感染経路の内訳

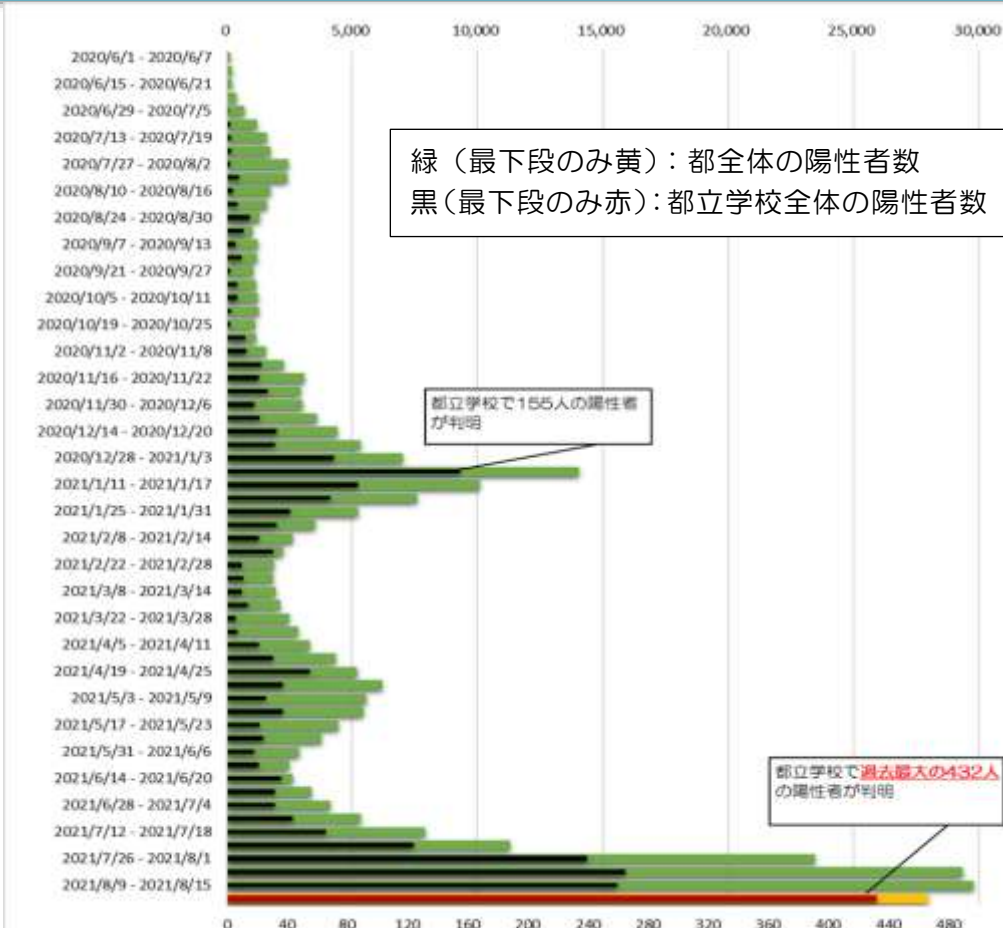
■ 家庭内 ■ 学校内 ■ その他 ■ 不明



※8月30日付け「教育新聞」よりデータを抜粋

★低年齢である幼児・小中学生ほど、家庭内での感染が多く、学校内での感染が少ないことが見てとれます。幼児は、特に保育園児などで在園時間が長いなどの影響もあり、学校内（施設内）での感染がやや多くなっています。一方で、特別支援学校では、**学校内感染が、2.4%と際立って低く（赤丸部分）、各御家庭・教職員の一致した校内感染予防対策の成果が表れています。**本校でも、さらに気を引き締めて、感染予防対策に努めてまいります。

【参考2】都立学校（主に高校+特別支援学校）全体の感染状況（令和2年6月1日～令和3年8月22日）



報道等でもよく目にするグラフです。8月に入ってからの陽性者数の増加が顕著です。

黒（最下段のみ赤）のグラフは都立学校全体（都立高校・中等教育学校・特別支援学校）合計の数であるため、特別支援学校の児童・生徒のみの陽性者数は読み取れませんが、いずれにしても「第5波」「デルタ株」の脅威にさらされています。

御家庭と学校との協力のもと、一層の健康管理を心がけ、学園生の生命を守っていきましょう。